



ハムスターは、交尾して何日くらいで出産するの

15日目に出産する

ハムスターは、ほ乳類の中では、赤ちゃんが生まれるまでの、にんしん期間が、いちばん短い動物の一つです。オスとメスが交尾して、15日目には、赤ちゃんが生まれます。いちどに生まれる子どもの数は、だいたい8ぴきくらいです。

生まれて3週間くらいはお乳で育つ

ハムスターの子どもは、生まれて3週間くらいは、お母さんのお乳を飲んで育ちます。その間、飲み水が不足したり、えさに水気の多い物をあたえてやらないと、お乳が出なくなります。そのため、ハムスターのお母さんが、子どもを食べてしまうようなことが起こりますので、気をつけましょう。

3週間たつと、子どものハムスターも、お母さんと同じえさを、食べられるようになります。こうなったら、お母さんとは別の飼育かごに入れても、だいじょうぶになります。

3か月後には親になる

3か月後には、子どものハムスターもおとなになり、また、子どもを産んで増えていきます。じょうぶで、育てやすく、すぐおとなになり、たくさん子どもを増やせることから、動物実験の材料として、よく飼育されています。夜活動する動物なので、昼間は、ほとんどねてばかりいます。(監修・今泉 忠明)

